

約50名が参加

自主防結成後初の防災・避難訓練実施



訓練開始前の役員による打ち合わせで任務分担が確認され、9時50分には配置について、訓練開始。

参加状況に課題残る

06年度の防災・避難訓練を3月11日に約50名の参加で開催しました。これまでも管理組合の主催で訓練は、毎年行ってきましたが、今回は自主防災組織の結成後として初めての実施でした。役員会の反省として、一言で言うと参加者数は50名にのぼったものの、階ごとの参加状況にバラツキがあり「参加状況に課題」との総括をしています。なお、訓練の様相などがNHKで放送されましたがご覧になりましたか。



9階から救出される役員二人は、時折吹く強い風の中、ベランダ越しに乗り移るときはおっかなびっくり。但し、キチンと命綱はつけてあります。ちなみに出勤から救出まで17分間。ベランダの避難板を割って、隣の部屋に逃げた方が早いのかも。

人工呼吸は、胸を押すときの力の入れ具合や息の吹き込み方が難しく、消防士さんに教えてもらいながらの訓練でした。一回だけでは、覚えきれないから繰り返しの訓練が必要との声もありました。



初めての訓練メニューに戸惑いも

当日は、防災会役員の打ち合わせを行った上で、9時50分に911号室から火災発生 of 想定で避難開始。911号室に取り残された住人が、高層用はしご車で救出されることとしました。しかし、当日は相当に風が強風速10メートルを超えたら中止することを前提の訓練となりました。

10メートル前後で推移する中、丁度風いできたのを見計らって救出は成功。

その後は、物干し竿と毛布で担架を作る訓練とか応急手当の訓練で人形を相手に心肺蘇生の実施なども行いました。心肺蘇生の訓練は集会室とピロティに分けて行われましたが、なかなか難しい面もあり、繰り返しの必要性も学ばされました。

また、各階東西端の部屋のベランダに設置されている避難用はしごの使用もほとんどの方に経験がなく201号室のご協力を頂いて使用させていただきました。



ベランダに設置された避難はしごの使用もしてみました
が、なかなかうまく使えずに揺れる場面も多くありました。

青柳公園に耐震性非常用貯水槽完成

訓練当日、青柳公園に完成した高知市水道局の耐震性非常用貯水槽の扱い方の披露がされていたので、訓練終了後には場所を移し実際に手押しポンプを扱ったりしました。この貯水槽は高知市に25基設置される予定で、これが15番目に稼働し始めたとのことです。いざというときには6000人の飲料水3日間分が蓄えられることになっています。

役員会では、「心肺蘇生訓練は良かった」「消火器訓練は毎年した方が良い」とか「台所の初期消火の訓練メニューもあるらしいので、それはした方が良い」とか反省とともに来年の訓練に向けた意見も出されていますので、参考に来年度の企画をすることとしています。



耐震性非常用貯水槽から汲み上げた手動ポンプを操作する参加者。

防災訓練に参加して

一四〇三号 沖本健二

これまでも可能な限り参加してきましたが、今回の訓練は、より有意義なものだったと感じています。というのも、従来の避難訓練に加えて、物干し竿と毛布を活用した簡易担架による怪我人の運搬や救命訓練を多くの方々が体験できましたし、さらにベランダの仕切りと同じ素材のボードを破ったり、実際に2階のベランダに備え付けてあるはしごを使った避難訓練を行うなど、今まで以上に実践的な訓練であったからです。

私も、簡易担架を作ったのは初めてでしたが、2本の物干し竿に巻きつけただけの毛布が、あんな丈夫な担架に早変わりするとは思いませんでした。また、ボードが簡単に破れることにも驚きましたが、避難はしごは、吊り下げているだけなので避難中に前後に揺れ、お年寄りや小さなお子さんの避難には極力階段を使って、どうしても避難する手段がない場合にのみ使うほうがいいと感じました。

また、最後に青柳公園にある地下貯水タンクからの給水訓練も行いましたが、実は、こんな施設ができていることを全然知りませんでした。ただ、南海地震が起こると、このあたりは何日も水没したままになると予想されていますので、本当に利用できるかどうかは疑わしい気がしました。我が家では、災害時に備えて飲料用のペットボトル6本と、20リットルタンクに水をためていますが、やはり自分の命は自分で守るべきですので、これからも続けていこうと思います。

南海地震など大規模な災害が起こった場合には、外からの救助はほとんど期待できませんので、結局のところ、自分たちで避難や救助活動を行うしかありません。いざというときのために、今回参加できなかった皆さんも、次回はぜひ参加してみたいか、がでしようか。きっと役に立つ知識や技術を身に付けることができると思います。

第四回役員会で07年度事業計画などについて議論

昨年度結成以来、さまざまにとりくみを行ってきましたが、第二回総会を開催し、07年度事業計画や予算案を決めなければならない時期を迎えています。

ただし、時期としては管理組合からの助成金決定及び役員改選を受けての開催となるため、管理組合総会を経てから開催することを確認しました。

以下に役員会で確認した方向性について、報告しておきます。なお、正式には総会議案審議のための第五回役員会を開催した後に、議案を決定することとします。

①2007年度事業計画案について

- 1 第2回全世帯アンケートを行い、要支援者把握などにつとめる。
- 2 家具転倒防止のとりくみの推進を図る。
- 3 第2回防災講演会など学習会を開催する。
- 4 防災マップを作成する。
- 5 津波避難ビル指定に向けた協議を開始する。
- 6 07年度防災・避難訓練を行う。
- 7 クロスロードゲーム訓練を行う。
- 8 年間予定事業

6月	定例総会の開催	
7月	活動計画の具体化についての第一回役員会	広報紙発行
8月	第2回全世帯アンケート・第二回役員会	広報紙発行
9月	防災講演会の開催	
10月	第三回役員会・防災マップ作成作業	広報紙発行
11月	第四回役員会	広報紙発行
12月	クロスロードゲーム訓練	広報紙発行
1月	第五回役員会	
2月		広報紙発行
3月	防災・避難訓練の実施・第六回役員会	

②「自主防災組織の整備を図る事業」資機材購入の検討について

昨年の購入計画に計上していた「消火器」「背負式救助用工具箱セット」「おんぶたいプラス」「トランシーバー」「携帯用拡声器」「2灯ハロゲンライトセット発電機」「防災啓発看板」「蓄光式避難誘導標識」などについての予算化を図ることとします。

③決算見込み及び予算案の様式変更等について

これまで、予算様式を細分化していたために、決算や執行上の不具合が生じていたので様式を変更することについて了承いただくとともに、市補助金の未収に伴う減額補正とそれに伴う流用などについても承認いただきました。

④役員改選について

役員改選については、管理組合理事会を経てからの改選案づくりとなりますが、できるだけ留任して頂くとともに、現状役員数より増加させることを目指すこととしました。

安否確認プレートは ドア裏に貼附して保管をして下さい



ドアに貼った際のイメージです。

今回は、役員会で協議の上、いざというときの救助効率を高めるための「安否確認プレート」を作成しました。

これは、日頃はドアの裏側に貼っておき、時々目にするすることで、防災意識を喚起し、地震発生時に家庭内で救助が必要な場合は、ドアに貼りだしてください。貼り出されていないお宅を優先的に声かけをし、救助にあたりたいと考えています。

また、救助にあたる人が少なければ、貼りだしてあるご家庭に声をかけさせて頂き、救助のお手伝いをお願いする場合があります。その際は、ご協力願います。

このプレートは避難誘導係の方に配布をお願いしました。配布完了までには、ご苦勞をおかけしました。

是非、紛失することなく、また、いざという時には、これを貼りだせるよう家庭内での備えをよろしくお願いします。

いざという時には、自室内での無事が確認できたら、ドアの外に貼りだしてください。貼り出されていないご家庭の救助を優先します。

外に貼りだしたお宅の方で可能な方に、救助のお手伝いの声かけをさせていただきます。

- 改めてご案内しますが、第5回役員会は管理組合理事会終了後ですので、6月中旬頃を予定しています
- ベランダの避難ハッチ（避難はしご）の取り扱い方法について、別紙のとおり作成しましたので、はさみこんでいます。ご一読、保管をよろしくお願いします。